

【7つのHとHAPPY】

本田は、この1年を振り返った。

振り返ってみると、会社の雰囲気はよくなってきたのは、『7つのH』の順番に沿っているようだった。

- ・改心して社員のことを本当に考えるようになった『Humanity』
- ・上っ面で飾らずに、自分の言葉を正直に伝えた『Honest』
- ・お客様のこと・社員のことを思いやれるようになった『Hospitality』
- ・無理な人間関係が無くなり自然と冗談や笑顔がでるようになった『Humor』
- ・社員との信頼関係が戻り、心に安心ができた『Health』…

そこまでは来ていた。

しかし次の『Hard（一生懸命）』に関しては明らかに不足していた。と言うよりもその意識が全くなくなっていた。

皆、自分たちのペースで楽しく仕事をする事しか頭になかった。

お客さまに対しては、それなりの仕事ができおり一定の満足は頂けている。しかし、このままでは社員の給料を上げることはできないし、新たなポストを用意することもできない。ず〜っと現状維持の組織しか見えない。

社員も今はそれで満足しているかもしれないが、しばらくすれば現状に不満が出て来る。給料も上げてやらなければならない。ポストも用意しなければならない。今の株式会社AAAではそれは実現不可能であった。

（このままではまずい…今のままではウチに将来は無い…）

そして次の社内会議の冒頭。

「みんな、この1年皆本当によくやってくれたと思う。

あの事件から1年経ち会社は本当によくなってきた。これは皆のおかげだよ。

いつも感謝しています。ありがとう。

それでな、オレはみんなの将来の事を考えてみたんだ。

会社の将来・社員1人1人の将来。お客さまの将来。そしたらすごく不安になってきたんだ。

今は社内の雰囲気も良く、楽しく仕事ができているけど、それだけじゃないかなって。
今は業績も伸びてはいないし、お金に余裕もないから皆の給料を上げることができないんだ。

当然会社も新しく人を雇う余裕もないし、組織は大きくなりから新しいポストが産まれることもない。

でも時代は変わっていくから、オレたちも変わらないと良い提案ができなくなりお客さまも離れていくだろう。

今のままじゃやばいなって。
そう思ったんだ。 皆はどうだろう？

5年後 10年後、どんな風になっていたい？ どんな生活を送っていたい？
どの位の給料をもらっていたい？

今と同じ働き方をしている、5年後・10年後もお客さまは今と変わらずにオレたちを選んでくれるだろうか？
どうだろう？」

会議室は静まり返った。社員たちは皆、真剣に考えているようだ。

そして静寂を打ち破ったのは若手社員の駒野だった。
「社長、オレもそう思います。今は楽しいけど、何だかそれだけだなって。
友達の話とか聞いていても、オレは楽しだし楽しいし、良い会社に入れたって思うんですけど、本当にこれで大丈夫なのかなとも思っていました」

「そうか、そう思っていたのか駒野」

駒野の言葉に他の社員も続く。
皆、薄々は気づいており、口には出さなくても不安を抱えていたようであった。

そうなれば話は早い。ハードの強化である。
ただし、今回は前回のようなトップダウン方式とはやり方が違う。

目標数値は社長の本田が決めたが、それを達成する方法については、社員達に任せることにした。社員たちはグループを作り、必死でアイデアを出し合い計画を作り進めた。

自らの意思で設定した計画は、実行に移されやすい。

社員たちは自ら立てた計画を、しっかりと行動していった。

思うように進まない事も多々あったが、皆で励まし合い助け合いクリアしようと努力していった。残業する日も増え、肉体的にはきつくなっただが、それに不満を言う社員はいなかった。むしろ充実感を感じていた。

そして、その年の12月。

社員の頑張りが功を奏し、月間最高売上をたたき出す。

これには本田をはじめ、社員全員が達成感を味わい喜んだ。

2年前に最高売上を出した時よりも、人数は4人も少ない中での達成であった。

本田は達成感を胸に、平川に電話をした。

「平川さん、やりました！！最高売上です！！

今度はまやかしの売上じゃなくて、社員も頑張ってくれてみんなで達成できた売上です！

お客さまにも喜んで頂けています」

「本田さん、それはよかったですね！私も嬉しいです。

でも、気を抜かないでくださいね！今からが株式会社AAAの歴史の始まりですから」

「はい！ありがとうございます」

本田の興奮は収まらず、岡田にも電話をする。

「岡田さん、やりました!!」

「そうか本田くんよかったな。で？ 平川さんは何て言ってた？」

「ええ、今から『History (歴史)』の始まりだって」

「ハッハッハ!! 君もそう言われたか。

オレも同じことを言われたよ！ 5年前にな。ハッハッハ！」

「えっ！岡田さんも言われたんですか？」

「そうだよ。オレも同じことを言われたよ」

「へえ…そうだったんですか。ちなみに…最近はどんなことを…？」

「最近もな、また嬉しいことを言ってくれたぞ、今は言えんがな。本田くんも 5 年後くらいに言われるんじゃないかな？」

「はい！オレも岡田さんのようなイキイキした会社を作っていきます」

本田はこの 2 年を振り返り思う。

「生まれ変わった…

たくさんの失敗もしたし時間もかかったけど、ちゃんと前に進める組織が作れた。やっぱりきっかけはアッシュさんに教わった『7つの H』だろう。『7つの H』が無ければ、会社が変わることはなかった。

でも、きっと忘れちゃいけないんだと思う。

今まで犯してきた失敗や苦労を。過去があるから今のオレたちがある。

きっとこれからも失敗を重ねるだろう。

でも、いくら失敗をしても立ち直る事ができる自信がある。

今のオレには信頼できる仲間と『7つの H』がいるのだから…

たくさんの経験を重ね、オレたちの History を作り上げていこう

5 年後の平川さんの言葉も楽しみにして」

<取材・執筆：物語ライティング>